



おおさきかみじま

議会だより

第64号/2019年4月1日



びっか びっか

の一年生戸

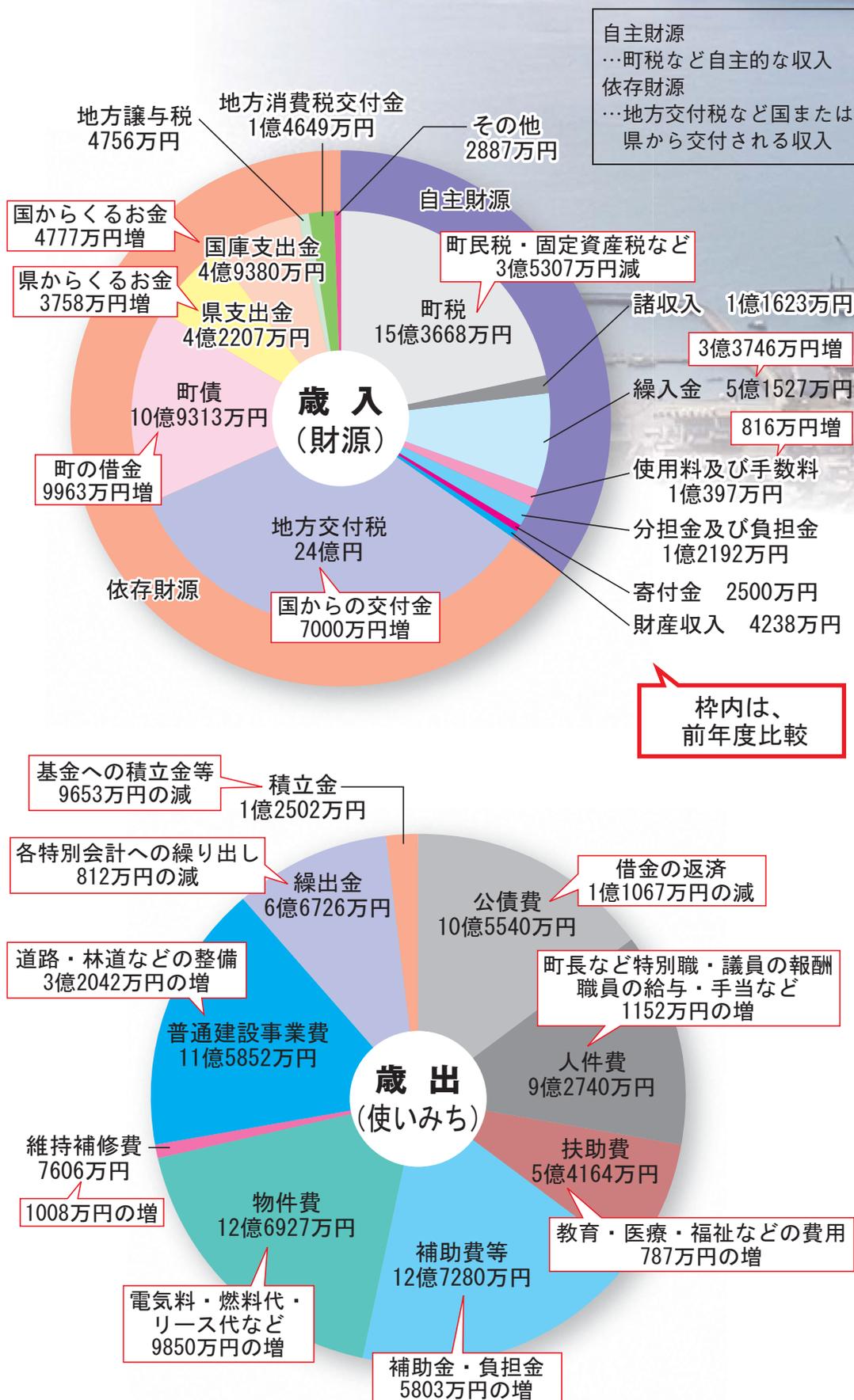
平成31年3月定例会

平成31年度予算	2・3
主な新規事業	4・5
わが町の予算の主なやり取り	6・7
決まった主なこと	8
6議員が一般質問	9～13
委員会報告	14～15
あれから・編集後記	16

予算を可決

111億3567万円
10億9313万円

平成31年第1回大崎上島町議会定例会は、3月6日から3月18日の会期で開会した。
町長の施政方針に始まり、6名の議員の一般質問、条例改正を含む議案等、3月補正予算、
新年度一般会計及び特別会計予算・水道事業会計を審議し、全ての案件を可決した。



第1回定例会
(3月議会)

平成31年度

予算総額(一般会計+特別会計+水道事業会計)
今年度の町債(借金)

平成31年度一般会計予算 70億9337万円

対前年比
4.3%
増額

会計別予算総括表

会計名		予算額	前年度比 %
一般会計		70億9337万円	4.3%
特別会計	国民健康保険事業	12億4829万円	13.7%
	介護保険事業	15億2328万円	0.7%
	後期高齢者医療保険事業	1億7691万円	0.1%
	公共下水道事業	1億3099万円	△23.1%
	農業集落排水事業	3977万円	△40.0%
	漁業集落排水事業	1億191万円	△1.0%
	港湾管理	2264万円	15.2%
	漁港管理	349万円	1.9%
	交通事業	1億7万円	10.8%
	干拓地管理	2224万円	110.4%
	合計	33億6959万円	3.7%
水道事業会計		6億7271万円	5.1%
合計	111億3567万円	4.1%	

〔町長施政方針より抜粋〕

町の目指す将来像「海景色の映えるまち」地域資源を活かした理想郷の実現」を目指し、4つのプロジェクトを相互に連携させ、昨年の7月豪雨災害を教訓として、災害に強いまちづくりに重点を置き、最大限の効果を発揮するよう取り組んで行く

- 一、「教育の島」プロジェクト
- 二、「癒しと元気の島」プロジェクト
- 三、「働く場を育む島」プロジェクト
- 四、「住んでみたい島発信」プロジェクト
- 五、災害に強いまちづくり

新規事業



小中学校タブレット導入事業

学習指導要領改訂によりICT教育を推進するため、小中学校のパソコン教室に95台のタブレットを導入する。

事業費

756万円



大崎上島幼稚園開園事業

幼児教育の適切な環境整備のため、大崎幼稚園・木江幼稚園を統合し、大崎上島幼稚園を開園する。

事業費

6840万円



母子包括支援センター設置事業

妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援を実施するため、母子包括支援センターを設置する。

事業費

464万円



わくわく元気ポイント事業

各種保健事業等への参加に対し、ポイントを付与。集めたポイントに応じておと姫カードを交付する。

事業費

1628万円



今年度の主要

東野小学校改修事業

老朽化に伴い校舎・
体育館・グラウンドを、
一体的に改修する。



事業費 1億9740万円

大崎産業会館改修事業

建物の老朽化に伴い
一体的に改修する。



事業費 1億2327万円

新たな漁港漁場整備事業

周辺海域の漁港漁
場の再生に取り組む。



事業費 3953万円

広田排水機場発電機更新工事

非常用発電機の更新。



事業費 2900万円

主なやりと

問 工事が3倍違う工事の管理業務委託費がなぜ同額なのか。

【森若議員】

答 工期を算定基準としているため。

【建設課長】

問 利子・配当金収入が前年度より多く計上されているが、景気の動向による変動リスクはないのか。

【閑田議員】

答 景気による変動はないので、債券運用の利回り分は増える。

【会計課長】

問 生活保護の対象者数はそのうち医療扶助費はどの程度か。

【閑田議員】

答 40世帯48人、医療扶助費は7750万円。

【福祉課長】

問 木江公民館耐震改修工事にアスベスト撤去費が計

上されている。他にアスベストが残っている建物はないのか。早急に調査するべきでは。法的には問題ないのか。

【閑田議員】

答 全ては把握していないが、まだ残っている建物もある。法的な部分も含めて精査し、全部撤去する方向で進める。

【副町長】



問 社会人に対する人権問題の啓発、特に職場でのセクハラやパワハラへの取り

組みは。

【前田議員】

答 町内39社で企業関係者等人権推進協議会を構成し、年1回、定期総会の際に研修会を開催している。

【住民課長】

問 定住促進住宅使用料795万6000円の内訳は。

【尾尻議員】

答 入居率50%で予算計上しているが、最新の申し込み状況では入居率は80%程度になる見込み。

【建設課長】

問 学習交流センターの居室使用料は。

【尾尻議員】

答 居室使用料の収入は1104万円、管理人室が72万円、研修室等が4万2千円を計上している。

【総務企画課長】

問 小型モビリティ利用推進事業の現状と今後の検討

は。

【越田議員】

答 4月から11月の稼働率が高いが、通年では利用率は横ばい。5年目を迎えるため、事業の今後について検討は始めている。今の車両をそのまま使うのか、違うものに替えるのか、どちらにしても事業そのものは継続するつもりだ。

【地域経営課長】



わが町の予算

問 空き家バンク等のもう1歩踏み込んだ体制づくりが必要では。

【越田議員】

答 空き家バンク登録されている建物も、さまざまな問題を抱えているものが多い。建物と同時に改修工事の補助制度等も紹介している。また、トライアルハウスや町営住宅等も紹介している。

【地域経営課長】

問 定住・移住アドバイザーの役割は。

【越田議員】

答 移住希望者の相談への対応や町内の案内、東京などでの定住イベントへの参加など。

【地域経営課長】

問 中頓別町との交流で特産品開発を行うとしている。北海道ブランドはネームバリューもあり期待できるが、他の友好姉妹都市とも連携

できないか。

【越田議員】

答 中頓別町の町制70周年記念事業として打診された事業で、今年度計上したが、今後、北広島や庄原、武蔵野市などともそういった協議をしていきたい。

【地域経営課長】

問 大崎上島幼稚園改修工事に掛かる費用を考えると、園舎を新築したほうが良いのでは。今年度大規模改修を実施することで、更新の足かせにはならないか。

【越田議員】

答 保護者説明会でそういう意見もいただいたが、少子化の現状を見るに教育委員会だけでなく、私立のことも踏まえて町全体で考えていくべき課題だと思っている。

それとは別に、新年度の園児の為に今の園舎のままでは問題があるので、改修を行う。

【教育長】



問 学習交流センターの居室の空き部屋の有効活用を考え、若干名であれば受け入れを増やすべきでは。今年度の受け入れ生徒数は。

【水橋議員】

答 県外からの生徒が12名だが、居室が30室なので1学年10名で運用する。

【総務企画課長】

問 港の待合所のトイレの洋式化は。

【閑田議員】

答 特に計画はしていないが、修繕が必要になった箇所から更新していく。

【建設課長】



議会広報写真コンクール 佳作



永年勤続表彰 20年以上 浜田明利議員

第1回定例会(3月議会)

決まった主なこと

- ・人権擁護委員推薦
氏名 大政 昭仁氏(再任)
- ・大崎上島町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- ・大崎上島町放置自動車の発生の防止及び管理に関する条例
- ・大崎上島町産業振興施設の設置及び管理に関する条例
- ・大崎上島三町建設計画の一部変更
- ・公の施設の指定管理者の指定(山尻老人集会所 他48施設)
- ・平成30年度大崎上島町一般会計補正予算(第8号)
- ・平成30年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計他8特別会計補正予算
- ・平成30年度大崎上島町水道事業会計補正予算(第3号)
- ・平成31年度大崎上島町一般会計予算
- ・平成31年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計他9特別会計予算
- ・平成31年度大崎上島町水道事業会計予算

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合は、ホームページの注目記事「〇〇議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。

※録画の視聴は町議会メニューの議会録画中継配信でご覧いただけます。

議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は**6月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。



スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールすることで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。

ぜひ、ご利用ください。(※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。)



ios



android

一般質問

町政を問う

6人の議員が12項目を質問



みずはし なおゆき 議員
水橋 直行

質問（水橋議員）

安心して暮らせる地域づくりについて医療は切っても切れないものだと思う。①島内医療設備を整えているところで入院設備の整った病院や診療所は幾つあり、それぞれ何床あるか。②今年度いっぱい入院受入をやめる施設があると聞くが、認識はあるか。③医療施設が減っていく中、県も町も離島医療に関し広域連携を強化するとしているが、夜間や荒天時の移送について対応は。④町のアンケート結果によると医療不安が上位となっている。直接医療にかかわらないようなことを含め、町としてより医療提供しやすい環境を作っていく必要があると思うが町としての対応は。

問

島内医療の今後は

答

住みやすく不安が軽減できる 対策を構築していく

答弁（保健衛生課長）

①現在、5診療所があり、そのうち3診療所がそれぞれ19床、9床、3床と合計31床ある。②入院患者の受け入れについて医師の不足・看護師等の医療人材不足等の要因で断念すると聞いている。③具体的な対策について今はない。地元の医師会等とも協議し、対応策を構築できればと考えている。④医療体制や交通の便等の不安について、入院患者の受け入れの停止も含めて大変危機感を持っている。不足医療の対応等含めて、これまで町としては耳鼻科の診療所の運営や、看護師等医療人材の確保として、社会福祉人材の就職支援金支給事業等での施策、それ

から身体・知的・精神障害者等の通院の助成や妊婦・乳幼児の健診の交通費の助成等も実施している。少しでも住みやすく不安が軽減できるような対策を構築し安心して住みやすい方向になるよう実施する。

再質問（水橋議員）

医療関係者の多大な負担のもと、今の島の医療はあるところと思う。今現在、離島としては充実した医療があるこの島をいつまでも大切にしていきたい。町と医療関係者の方と連携を深め、維持さらには発展させるため、お互い携わっていかれたらと思う。

問

みゆき健康館の 廃止後は



うえあお き いたる 議員
上青木 至

答

利用者へのフォローは出来ている

質問（上青木議員）

平成31年3月末でみゆき健康館の廃止が決まったが、利用者は突如廃止を提案され、これからどうしているのかと不安を訴えているが、福祉課としてどう考えているのか。

答弁（福祉課長）

現在、サービスを利用している47名の方については、必要なサービスが継続的に提供されるよう関係機関と協議し、利用者の行先は決定している。

問
県の急傾斜地崩壊対策工事の対象と現状は

答
個別案件は一つずつ
検証(工期は県と
協議)したい

質問 (上青木議員)

県が行っている急傾斜地崩壊対策工事について資材不足により、工事を一時中断しなくてはならない状況が起こっているが、対応はどのようにしているのか。

7月豪雨災害において、何カ所か急傾斜の対象地区となった地域があるが、工事にかかっているのは3年後と回答があった。早急な対応をと思うが。

答弁 (建設課長)

県工事の遅れについて、町として答えにくい要望はしていく。緊急性のある箇所については、住民の安心・安全のため町費での対応を考えていく。

問
行政懇談会の内容は

答
意見、要望等の内容を精査し順次回答、説明

質問 (上青木議員)

町長の公約である行政懇談会を今年度ようやく行ったが、各区でのさまざまな意見、要望等についてどのような回答をし、受け止めたかをしたのか。

答弁 (総務企画課長)

主なものとして7月の豪雨災害関連、公共交通、イノシシ対策等の質問や意見が多く、内容を精査し、順次回答説明をさせていただいている。

町民の声を聞き、住民主体のまちづくりを進めるという観点から、大変意義のある懇談会だったと受け止めている。



どうりん きよたか 道林 清隆 議員

質問 (道林議員)

町内公共事業で生じる建設発生土の処分地が少なくなっている現状で、町内の干拓地等低地帯に島外の土砂を大量に受け入れる緊急性があると考ええるか。また、条例規則を潜り抜けるがごとの手段で事業実施を行っている状況も見受けられることから、新たな条例規則を制定する考えがあるか。

答弁 (町長)

島外からの土砂搬入による埋め立て問題については、住民からさまざまな苦情、ご意見があり、対応に苦慮している。

住民が安心して暮らせる環境をつくることは行政の責務であると認識する。一方で、住民が自らの所

問
土砂埋め立ての条例は

答
安心して暮らせる環境をつくることは行政の責務である

有地に土砂を入れ農地改良をすることについて、どこまで行政が規制できるのか難しい判断、高度な判断が求められると考える。今後、広島県、弁護士等の助言を求めた上で対応策を考える。

緊急性については、民有地であるため、判断に関する答弁は差し控える。

再質問 (道林議員)

大崎上島町土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例は、町民の生活環境及び財産を保全することを目的としている。達成する上で、条例第23条で規定する報告を、これまでに何度求めているか。

再答弁 (建設課長)

これまで、埋め立てに関

する土砂の安定とか隣地への流出というところに主眼を置いており、環境に関する特別な報告は求めてこなかった。

「大崎上島町土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例」第23条

町長は、この条例の施行に必要な限度において、事業主に対し、定期的に、工事の施工状況、土壌の地質検査、排水の水質検査その他必要な事項に関し報告を求めることができる。



原下荷揚場



尾尻 康二 議員

問 行政懇談会の要望等への対応は

答 要望等の解決に向け取り組み

①行政懇談会が町内の全区で開催されたが、懇談会における町民の意見、要望等の内容と対応は。

事項・公共交通機関に関する事項・イノシシ等有害鳥獣被害対策に関する事項・野良猫対策に関する事項・職員の接遇等に関する事項が多かった。

②行政が町民に町の政策等について直接説明し、町民の声を聞き、町政を運営していくことは重要であると考えている。

今後の行政懇談会の開催については、時期・時間・回数・場所・町行政の参加者・内容等について協議の上、決定する。

②今後も懇談会を定期的で開催し、政策等について丁寧な説明を行い、町民の声を聞き、町政を運営していくことが大事であると考えられているが、今後の取組はどうするのか。

答弁（総務企画課長）

①行政懇談会における主な意見・要望等は、昨年7月の豪雨災害を踏まえた防災および、災害復旧事業等の事項が最も多く、その他の建設土木に関する

事項・公共交通安全に関する事項・イノシシ等有害鳥獣被害対策に関する事項・野良猫対策に関する事項・職員の接遇等に関する事項が多かった。

今後の対応は、災害復旧・建設土木に関する事項のように現地確認による現状把握が必要な事項、公共交通機関に関する事項、業者との協議が必要な事項、物品の購入等で足りる事項等に整理し、対応時期を決定し、平成30年度は、補正予算による事業費の追加等により対応する。また、平成31年度当初予算においても要望等を踏まえ、新規関連事業の計上、既存事業の増額、充実等を行っており、要望等の解決に向け、早期着手、完了に努める。



問 本郷川の改修は

答 改修は困難であるが、維持修繕を実施する

質問（尾尻議員）

平成27年9月の定例会において、一般質問をした事

案である。本郷川の片浜区の一部分だけ堤防、川床が石積、コンクリート等で改修されておらず、改修を要望した。県の砂防指定の河川であり、予算がつきにくい、県に要望するとの答弁を受けていた。その後、3年経過するが、今後の整備の見通しは。

答弁（建設課長）

同事案は、県に伝え、県とともに現地確認をしている。河川断面が確保されており、改修は困難だが、維持修繕は対応するとの県より回答をもらっている。現状では、平成29年に少し下流の護岸の補修、今年度は少し上流の護岸の補修工事を実施している。環境面では草木が大きくなっている

ので、伐木等必要な部分から実施する。



未改修の本郷川



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

問 小中学校の学力調査の評価は

答 今後も一層学力向上に努力する

質問（渡辺議員）

中学校だよりによれば、学力調査の結果、（国語A・B）（数学A・B）（理科）の五科目

中数学Aを除けば、広島県および全国平均を1Pから5P上回っている。この結果については、生徒はもちろん先生の努力もあってのことと思われるが、教育委員会としてどのように評価しているのか。また、小学校の学力調査の結果はどうか。

答弁（教育長）

全体的にはここ数年、学力は高まってきている。数学については伸びが見られないので、

学校としても大きな課題として、教員の質を高めることや生徒の学力に応じた授業の在り方を踏まえ努力している。

教育委員会としては、これからも中学校全体の学力を高める努力をするよう指導する。

小学校については、5科目いづれも広島県および全国平均を10P前後上回っており、ここ数年伸びが続いている。今後も一層、子供の学力がたくよう努力していく。

町の教育は、大崎上島学を基盤にした大崎上島町教育推進プランに基づき、すべての学校が同じ方向で授業をしている。

教員も自分の授業力を高めるための研修をしている。

この研修を通じて、子供の学力の向上につながる授業改善等を指導していく。



問 いじめ虐待の実態は

答 報告は受け対応している

質問（渡辺議員）

学校での児童、生徒同士のいじめ、あるいは家庭環境での虐待はあるのか。あるとすれば具体的にどんなことなのか。

答弁（教育長）

本町では、いじめ防止基本方針を作成しており、悪口を言う、暴言を吐くものもいじめの定義にあり、早期発見を心掛けている。子供たちに何らかの変容があった場合、いじめかあるいは虐待ではないか、子供が安心・安全に学校生活を送っていない状況ではないかを教員が見守るよう指導している。

いじめについては、毎月アンケートをしており、年間小学校では5件、中学校では12件という報告がある。子供にいじめの兆候が見られれば、学校が危機管理

マニュアルに沿って、丁寧に対応できるようにしており、家庭とも連携し長引かないように対応している。

暴力行為についても年間数件はあるが、いじめによるのか、個人的ないざごさなのかを把握した上で報告させている。暴力行為の結果、不登校に及ぶ案件にはなっていない。

家庭環境による虐待の報告は受けていない。





もりわか いわお
森若 巖 議員

問
名ばかり入札を改善するには

答
抜本的に入札契約方式の改革促進は必要。他自治体の動向も勘案しつつ、必要に応じて見直しを検討する。

質問（森若議員）
旧三町が合併した当時の資料によると、その中に町が発注した工事の入札資料があり、入札案内をしたほとんどの業者が入札に参加し、今とは比べ物にならないぐらい低い落札率で落札されており、指名競争入札の原理が働いている。近年は入札案内をしてもひどい時には2社で入札を行っており、名ばかり入札の状態になっている。改善するにはどのような方法が考えられるか。前回議会での質問で「入札は適正であり違和感を持っていない」との答弁であったが落札率100%の工事も数件

あるときいたが、その件数の事業名を伺う。それと、公共工事に関して建築工事と土木工事の直接工事費と間接工事費の比率は。

答弁（総務企画課長 建設課長）

平成30年度には落札率100%の事業は一件だけ。価格だけではなく、技術や品質を含めた評価の下での健全な競争が行われるよう抜本的に、入札契約方式の改革を促進することは必要であると考えている。
また、直接工事費と間接工事費の比率は建築工事の場合は65・3%対34・7%。土木工事の場合は55・1%対44・9%。

問
小型合併槽浄化槽維持管理検査は

答
必要だ

質問（森若議員）

集落排水及び公共下水道が旧木江地区の一部及び旧大崎地区には整備されているが、旧東野地区、旧木江地区の一部には整備されていない。町としては補助金を出して小型合併浄化槽の設置を進めているが、今現在で単独槽も合わせて何基あるか。

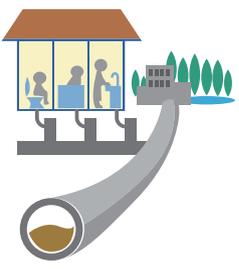
答弁（保健衛生課長）
今現在では1,108基。

再質問（森若議員）

町が把握している小型合併浄化槽及び単独槽の維持管理は出来ていると思うが、町が把握していない単独槽について、維持管理はどのような指導を行っていくのか。

再答弁（保健衛生課長）

検査等を受検し、適正に管理をしていくように指導して行く。



問
積算の根拠は

答
概算見積りで適正である

質問（森若議員）

先般、垂水消防屯所整備について世間一般の金額とかけ離れていると指摘したが、この度も消防屯所のトイレ増築（13㎡）の費用として607万の事業費を計上しており、坪単価にすると151万。また旧木江幼稚園職員室増築及び外壁、内装の改修費用として6,270万を計上し、職員室増築（20㎡）で費用は約2,000万、1㎡100万、坪単価330万。外壁改修は450㎡400万、1㎡9,000円!?

このような積算金額を町民が理解すると思うか。

答弁（教育課長）

実施計画に当たっては内容を精査して執行していく。

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：閑田大祐 副委員長：渡辺年範
委員：越田賢一 道林清隆
前田太 水橋直行

大崎上島町議会12月定例会以降に開催した、委員会での主要な調査、協議事項及び、継続審議した内容と事業内容の審議について報告します。

○海星高校魅力化支援事業
海星高校を魅力ある学校とし、将来にわたって学校を存続させるために実施しています。

公営塾の運営や魅力化推進コーデイネーターの配置、宿舍の提供、生徒全国募集の支援などが行われていますが、公営塾では今年度、塾生が上智大学や早稲田大学などの有名大学にも合格しました。こうした実績が、次年度以降の生徒募集にも繋がっていくものと期待しています。

○人口推計
いわゆる「団塊の世代」と呼ばれる世代の人たちが65歳を超えた平成26年以降、町の高齢化率は47%台に上昇しています。
社会保障費の増加など、

弊害となる部分について議論はされていますが、現在問題になっている人手不足もこれにあたります。
当町では、経済活動における人手不足も深刻ですが、様々な場面での担い手の人材が不足しています。

○FTTH事業
光ファイバーによるインターネット接続事業は、エネルギーアコモユニケーションズとの20年契約が残り5年となり、今後の検討を行う時期にきています。

現行の占有型機器から、現在主流の共有型に更新すれば、現行サービスのdo・upから都市部のメガエッグに移行することができ、都市部と同レベルのサービスの充実が図れます。事業者は、サービスを移行し引き続き実施したい意向です。
しかし、東京五輪に向けて開発進行中の5Gと呼ばれる次世代モバイルネットワークは、光ファイバーより高速通信が可能になるため、多くのユーザーが流出

する可能性もあり、接続数・契約数の動向に注視しつつ慎重に検討していく必要があります。

○ふれあいの館
ふれあいの館の利用者数が、平成26年度の21,908人をピークに、減少しています。

平成29年度は18,977人で19,000人を割り込み、平成30年度は1月末現在で16,192人です。
しかし、カラオケルームは利用者数が増えており、今後も工夫しだいで利用者を増やす見込みはありそうです。



○母子包括支援センター
母子保険事業として、安心して妊娠・出産・子育てが出来るよう、母子保険と子育て支援が一体となった切れ目ないサポート体制構築に向け、母子包括支援センターを設置します。妊娠期から子育てに至るまで、包括的に支援できるように専門職を配置します。
4月から木江支所内で設置準備にかかり、8月ごろ開設の予定です。



産業建設常任委員会報告

委員長：尾尻康二 副委員長：森若巖
委員：上青木至 信谷俊樹
浜田明利 浜田幸造

平成30年12月定例会以降の委員会報告をします。各課から3月定例会で議案となる条例案、補正予算案、平成31年度当初予算案及び事業計画案と主な繰越事業の進捗状況などの説明を受けて審議をしました。

○7月豪雨に伴うため池の廃池工事

広島県は、緊急対策としてため池廃池工事の予算を計上。当町は4か所のため池を申請しています。4月から実施設計を行い、雨の影響をさけるため、本工事は雨の少ない秋ごろからとなる予定です。



本郷区門ノ下上池

○大串区の定住促進住宅の状況と今後の見通し

2月28日に完工し、3月12日に落成式が行われました。町は1月に入居者を募集し、19戸の入居を決定しました。3月に残り11戸の再募集を行い、8戸の入居を決定し、現在、全戸入居が決定。



完成した定住促進住宅

○捕獲鳥獣処理施設の稼働状況と施設整備の進捗状況

4月より試行稼働を開始し、以降1月末まで、322頭を受付し、7トン余りを処理しました。月平均開設日数は19日で月平均受付頭数は32頭です。施設のエアコンを新年度に計上。

○体験型修学旅行の今年度の実績と来年度受入予定

平成30年度受入校
20校 2706人
平成31年度受入予定校
20校 3252人

○大崎上島町産業振興施設の設置及び管理条例

農林水産業の振興の場として活用するとともに農林水産業者の経営の安定化を図るための大崎上島町産業振興施設が完成しました。あわせて条例を制定。



○大崎上島町放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例
放置自転車に続いて、放

置自動車に関する条例を制定しました。

○公の施設の指定管理者の指定

大崎上島町営大串キャンプ場及び大崎上島町シーカヤック艇庫の指定管理者として、大崎上島シーカヤックが指定されました。なお、指定の期間は平成31年4月1日から5年間です。

○産業会館大規模修繕工事

○新たな漁港漁場再生事業
2年目に当たり、環境調査で得たデータを活用し、実証試験を実施します。

○向山団地3号棟外壁改修工事

建設から40年経過し、住宅の長寿命化を図ります。

○沖浦明石連絡管整備事業

水道連絡管の整備により、断水区域を最小限にとどめることができます。

追跡 あれからどうなった

質問

公営塾運営事業とは

回答

生徒数の増が目的

その後の経過

今年度、公営塾神峰学舎には全校生徒101名中、58名の入塾希望がありました。授業は週5日（月曜から金曜）、16時もしくは17時から20時まで、主に大崎海星高校内の視聴覚教室で行っており、4名の地域おこし協力隊がスタッフとして勤務しています。卒業生は、国立大学や有名私立を始め、専門学校、就職と例年、多様な進路へ進んでいます。日々の授業の中でも、積極的に塾を活用し、校内テストを20点以上伸ばし、英検・漢検・数研への合格など、確かな成功体験を積

んでいる生徒が複数名みられ、また、教科の学習だけでなく、社会人として生きていく上での基礎力と学習意欲を育む授業（夢☆ラボ）も実施しています。今年度も実施する中で、普段出会わないような人と出会う機会をつくり、生徒の視野が広がる時間をつくることができ、振り返りアンケートでは「普段の生活でできないことができた」といった声などが聞かれ、卒業生のアンケートでは、「わかりやすいように工夫して教えてもらった」といった声などが聞かれ、学習の場としてはもちろん、自分や進路



未来に向かって

のことを考える場、気軽に相談できる場として生徒に認知されています。今後は、iPadを導入するなどICT化を進め、さらなる学習環境の整備を進めています。流出人口減少対策に係る施策案を全職員から募り「人口減少問題対策施策提案総括」としてまとめ平成26年12月「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、先の施策を「大崎上島町まち・ひと・しごと総合戦略」に掲げ国の補助金を活用し実施している。

編集後記



終に平成が去り令和が訪れます。

バブルという流行りと共に現れた平成の波は、世の中の注目を最後まで集めたまま静かに幕を閉じて行きます。

この30年余り、多くの出来事それぞれの人達に有った事とあります。

女性の発信力も突出して、いつも流行りの最先端は女性でした。LEDが開発され、世の中が煌びやかに輝いていた時代でした。

大きな災害が多く起こった時代ですが、たくさんの方が起り大きく変革していった平成時代でした。

新しい時代は流す涙の数より、たくさん多くの笑顔に溢れた令和になってもいいと思います。

(K・K)

大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

議会広報委員

委員長

閑田大祐

副委員長

水橋直行

委員

上青木至

尾尻康二

越田賢一

森若巖